

グローバルスタディーズ演習Ⅳ

科目ナンバリング SEM-404
選択必修 2単位

加藤 恵美

1. 授業の概要(ねらい)

国境を越えて居住地を移す人が増え、日本でも海外にルーツを持つ人が多く暮らすようになっていく。この演習では、人の国際移動を背景とした多文化共生社会のあり方を考える。この演習の特徴は、最近の移民だけでなく、過去の植民地支配にまつわる移民も射程におさめる点にある。また日本社会に焦点を合わせつつも、海外の社会と比較したり関連付けたりしながら、多文化共生社会についての複眼的な考察を行うことを目指す。

この演習では、前期に新書レベルの本を輪読し、基本的な知識を身につけた上で、それぞれの関心に従い研究テーマを決める。後期は、それぞれの研究の進捗ならびに成果の報告を行う。

2. 授業の到達目標

- (1) 移民に関する基本的な知識を身につける
- (2) 移民に関する興味・関心を高める
- (3) 移民に関して自主的に学ぶ力をつける

3. 成績評価の方法および基準

授業への積極的な参加(発表・ディスカッションなど、20%)、中間レポート(研究計画バージョン2、30%)、期末レポート(研究成果、50%)

4. 教科書・参考文献

教科書

戸田山 和久 新版 論文の教室 レポートから卒論まで NHK出版、2012年

参考文献

授業内で紹介する。

5. 準備学修の内容

授業内で指示がある。

6. その他履修上の注意事項

授業内で指示がある。

7. 授業内容

- | | |
|--------|--|
| 【第1回】 | はじめに:演習のねらい、進め方についての説明 |
| 【第2回】 | レポートの書き方『論文の教室』を読む(1) |
| 【第3回】 | レポートの書き方『論文の教室』を読む(2) |
| 【第4回】 | レポートの書き方『論文の教室』を読む(3) |
| 【第5回】 | 研究計画の発表(1) |
| 【第6回】 | 研究計画の発表(2) |
| 【第7回】 | 研究計画の発表(3)中間レポート(研究計画バージョン2)のラフドラフトの検討 |
| 【第8回】 | 研究計画の発表(4)中間レポート(研究計画バージョン2)の提出 |
| 【第9回】 | 中間レポート(研究計画バージョン2)のフィードバック |
| 【第10回】 | 研究成果の発表(1)-1研究の進捗報告 |
| 【第11回】 | 研究成果の発表(1)-2研究の進捗報告 |
| 【第12回】 | 研究成果の発表(1)-3研究の進捗報告 |
| 【第13回】 | 研究成果の発表(2)-1期末レポート(研究成果)のラフドラフトの検討 |
| 【第14回】 | 研究成果の発表(2)-2期末レポート(研究成果)の提出 |
| 【第15回】 | おわりに:期末レポート(研究成果)のフィードバック |